

## リトル・マズグレイブとバーナード夫人

1 ある祝日のことでした

へイ ダウン

一年に祝日は数ありますが

その日 若い男女は連れ添って

朝の祈りとミサに出かけます

2 マズグレイブが 教会の戸口にやってきました

へイ ダウン

神父さまは 独りミサの最中でした

けれども彼は きれいなご婦人が気にかかり

美しいマリア様には目がゆきません

3 一人は緑の服を着て

へイ ダウン

一人はきらきら光る服を着て

そこに バーナードの奥様がやってきました

みんなの中で いちばんきれいな方でした

4 奥様は マズグレイブをちらりと見ました

へイ ダウン

夏の太陽のように輝く目をして

すると マズグレイブは心の中でにんまりと

「奥様の心はいただき」

5 「マズグレイブ おまえを愛していたのです

へイ ダウン

今までずっと 長いこと」

「奥様 わたしもあなたを愛していました

ただ 口に出して言えなかっただけ」

6 「バクルズフォードベリーにお城があります

へイ ダウン

「きれいに飾ったお部屋があります

もしも おまえがそこまで行くのなら

ひと晩中 わたしの腕に眠らせましょう」

7 「奥様 ありがとうございます

へイ ダウン

「身に余るこのお優しさ

泣くも笑うも身の運命さだめ

今夜は あなたと一緒に眠ります」

8 小姓が この話を聞きつけました

へイ ダウン

奥様の馬車の脇につけていているとき

「奥様の小姓の身ではあるけれど

ご主人様にも仕える身

9 「ご主人様に知らせなくては

へイ ダウン

何がなんでも お知らせするのだ」

橋が落ちているところでは

泳いで川を渡りました

10 「ご主人様 お休みですか お目覚めですか

へイ ダウン

「まさか お永眠やすみではないでしょう

マスグレイブが バクルズフォードベリーで

奥様と ひとつベッドでお楽しみ」

11 「小姓よ もしもそれが本当ならば

へイ ダウン

今言ったそのことが本当ならば

バクルズフォードベリーの土地を

そっくり おまえに与えよう

12 「でも もしもそれが嘘ならば

へイ ダウン

「今言ったそのことが嘘ならば

バクルズフォードベリーのいちばん高い木に

おまえの首を吊るしてくれよう」

13 バーナードは 家来の者を皆起こし

へイ ダウン

「わしの馬に鞍をおけ

今宵いまから バクルズフォードベリーに出陣だ

今までにない火急の用で」

14 家来の中には口笛を吹き 歌うたい

へイ ダウン

のんきに言う者もおりました

バーナードの角笛が鳴るたびに

「逃げろ マスグレイブ さあ逃げろ」

15 「あれは ツグミの鳴き声でしょうか

へイ ダウン

「それとも カケスの鳴き声でしょうか

いやいや バーナード様の角笛では

だったら すぐにも逃げ出さなくては」

16 「じつとおやすみ じつとして

へイ ダウン

わたしを抱いて暖めて

あれは 羊飼いの少年の笛

囲いの中に 羊を追っているのです

17 「おまえの鷹は止まり木ですよ

へイ ダウン

「おまえの馬も 麦と秣まぐわを食はんでます

おまえは きれいな女を腕うでに抱き

それなのに 退散しようというのですか」

18 そのとき バーナードが到着し

へイ ダウン

石段のうえに降り立ちました

三本の銀の鍵を取り出して

三重の扉を ひとつひとつ開けました

19 掛けボタンをはねあげて

へイ ダウン

シートもまくりあげました

「どうだい どうだい マスグレイブ

奥様のお味は 気にいったかい」

20 「けっこうなお味です

へイ ダウン

「でも これ以上は胃が痛む

よろこんで 三百ポンド差し上げましょう

むこうの丘に 逃のがしていただけるのなら」

21 「起きろ 起きろ マスグレイブ

へイ ダウン

服を着るのだ

国中のうわさの種は願ねがい下げ

裸の男を殺したなどと

22 「二本の刀が鞘かばの中

へイ ダウン

いずれも 大金叩たたいて買ったもの

おまえには 上等の刀を持たせよう

このわしは 切れ味わるい刀でじゅうぶん」

23 マスグレイブが繰り出した一撃で

へイ ダウン

バーナードは深傷を負いました  
バーナードが繰り出した一撃で

マスグレイブは もうそれ以上撃てません

24 そのとき きれいな奥様が言いました

へイ ダウン

ベッドに横になったまま

「マスグレイブ たとおまえが死んだとしても  
おまえのためには祈ります

25 「魂が救われるようにと祈ります

へイ ダウン

わたしの命がある限り

でもバーナード あなたのためには祈りませんよ  
わたしは あなたの妻だけだ」

26 奥様の両の乳房は切り取られ

へイ ダウン

見るも哀れなことでした

奥様の心臓の血が ぽたぽたと  
膝にしたり落ちたのでした

27 「馬鹿者め 馬鹿者どもめ 皆の者

へイ ダウン

おまえらは 何の役にも立ちませぬ

なぜ わしの手を止めてはくれぬ  
頭に血がのぼると知りながら

28 「この世でいちばん勇敢な騎士を殺してしまつた

へイ ダウン

馬にまたがる猛者だったのに

この世でいちばんきれいな女を殺してしまつた  
女の鑑であつたのに

29 「墓の準備を 墓の準備を」と大声で

へイ ダウン

「二人の恋人同士入れてやるのだ  
でも 奥様は上の方

奥様の出が 上なのだから」